土屋新聞

発行所
株式会社　土屋
0120-547-278

介護保険で住宅改修

工事の自己負担を軽く

総費用20万円まで何度でもOK

年をとると自宅でもちょっとした段差や和式トイレなどが使いづらくなることは少なくない。体に不都合が生じ、介護が必要になればなおさらだ。そんな時、介護保険を利用すれば住宅改修費用の一部支給を受けることができる。必要な改修を専門家とよく検討して、利用してみてはいかがだろう。

足の力が弱まったので、和式トイレでは座りにくく、転びそう。だから洋式にしたい。東京都に住む要介護1の八十代女性は二〇〇八年、自宅の和式トイレを、洋式便器に交換した。壁の手すり設置工事も含め、総費用は約十七万千円かかったが、自己負担は一割の約一万七千円で済んだという。介護保険で住宅改修費の支給を受けたためだ。

要支援・要介護の認定を受けている人は、生活のために住宅の改修を迫られることも多い。そのため、介護保険には住宅改修の費用を支給する仕組みが整っている。

介護保険を利用して住宅改修するには…

対象者

- 要支援・要介護認定を受け、自宅で暮らしている人

支給額…最高18万円

- 工事費用20万円まで9割が保険で支給される。20万円を超えた分は全額自己負担
- 工事費用総額が20万円に達するまで何回でも利用できる
- 要介護度が3段階以上上昇した時、あるいは転居した時は再度工事費用20万円の枠が与えられる

対象となる改修工事

- 手すりの取り付け
- 段差の解消
- 滑り止めや移動の円滑化などのための床材変更
- 引き戸などへの扉の取り換え
- 洋式便器への取り換え
- 付帯して必要となるその他の工事

費用の目安は…

要介護1の女性がトイレを改修したケース

- 和式便器から洋式便器へ（約13万円）
- 両脇の壁に手すり取り付け（約4万1000円）

計約17万1000円のうち9割が保険支給

↓

自己負担は1割の約1万7000円

※材質や設置場所、付帯して必要となる工事などによって費用は異なる

利用の流れ

- ケアマネジャーらに改修を相談
  - どんな改修が必要か話し合い、その上で支給対象になるか確認する
  - 複数の業者に見積もりを出してもらい比較して施工業者を決める
- ↓ 市区町村に事前申請。審査を受ける
  - 支給申請書、住宅改修が必要な理由書、工事費見積書などを市区町村の担当窓口に提出する
  - 市区町村が審査、受理する前に改修に着手しない
- ↓ 改修の実施、完了
- ↓ 支給の正式申請、決定
  - 工事費用の領収書、工事費内訳書、改修を確認できる書類（改修前後の写真。原則として撮影日が分かるもの）などを提出し、正式に支給申請する
- ↓ 支　給
  - おおむね支給決定の翌月に指定した口座に振り込まれる

※市区町村によっては必要な書類や手続き、審査期間などが異なることもある

失敗しないマイホーム選び

工務部主任　船越秀和

いつかは、マイホームがほしい。人生におけるおおきな買い物だから決して失敗したくない。そんな思いを持ちながら日々暮らしている方は多いでしょう。住宅関連の多種多様な情報を実に簡単に入手できる昨今、迷われるのも当然のことです。

マイホーム選びで希望する項目の優先順位や目的をしっかりと認識する事が大切になります。住宅づくりでは、見えないモノを形にしていかなければなりません。

自分でも気づいていない部分ほど、入居後の後悔につながるケースが意外と多いものです。

立地条件や間取りだけではなく、家族にマッチしているかが大切になります。

柔軟性のある「動きやすくて、暮らしやすい」は、家づくりにおける基本テーマです。

自分たちの暮らし方について考え、「暮らしの棚卸し」をし、家族みんなで「家づくり」を軸にコミュニケーションを深めていただくことが「失敗しない家選び」。

それがしっかりとできているかどうかで購入後、入居後の納得感、満足感も違ってくるのです。

家とは心安らぐ場所であり、生活の基盤となるものです。

人が暮らしていくうえで一番重要なもの、それが「家」であると私は考えます。

今後もよりよい住宅を提供できるように、日々努力を重ね住宅を通して、皆様に快適な暮らしを提供し続けていきたいと思っています。

家のことは何でも
ツチヤ

そうやりましょう

株式会社土屋

健康コーナー

お酒に弱いのに飲酒・喫煙…食道がんリスク190倍に

顔がすぐに赤くなる弱い体質の人が飲酒と喫煙をすると、食道がんになるリスクが、飲酒も喫煙もしない人に比べ、最大190倍も高くなることが、東京大学の中村祐輔教授と松田浩一助教の研究でわかった。

同じ体質の人でも、飲酒や喫煙をしないと、リスクは倍程度に下がった。体質を理解して生活習慣に気を配ることで、予防したり、早期発見できると期待される。

研究チームは、食道がん患者二八三人と健常者二八三人で、約55万か所の遺伝情報の違いを比較。発がん性が指摘されているアセトアルコールからアセトアルデヒドを作る酵素と、アセトアルデヒドを分解する酵素の二つが、食道がんのリスクに関連していることを突き止めた。

アセトアルデヒドは気分が悪くなる原因物質で、たばこの煙にも含まれる。顔が赤くなるのは、アセトアルデヒドの分解能力が弱いタイプ。日本人の4割がこのタイプで、アセトアルデヒドが増える。

飲酒・喫煙の影響についても調べたところ、お酒に弱い人が、二つの酵素の働きが弱くて、一日缶ビール1本以上の飲酒と喫煙をすると、相乗効果が働き、お酒に強く飲んだ人に比べ、食道がんのリスクが190倍も高くなっていた。

YAHOO JAPAN ニュースより

無料耐震診断を致します

（建物は木造平家建て、2階建てに限ります）

この機会に住まいの安全性をご確認ください。

住まいの何でも相談も受付中です。

0120－547（ごようなら）－278（つちや）　株式会社　土　屋